

授業科目	嚥下障害Ⅲ（事例と臨床）				
担当者	田上恵美子・糸田昌隆・中村靖子				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

摂食・嚥下リハビリテーションの取り組みの実際について学ぶ
 成人・高齢者における摂食・嚥下障害の病態診断とリハビリテーションの具体的対応法、周辺事項への対応法について学ぶ

■ 到達目標

個々のケースについて評価し、訓練プランを立案できるようになる
 病態別嚥下障害に関する臨床現場における具体的対応法の立案が可能になる

■ 授業計画

- 第1回 変性疾患の嚥下障害学概論（田上）
- 第2回 ALS 事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第3回 ALS 事例に対する意思伝達演習（空書・読唇・50音表・透明板・読み上げ法）（田上）
- 第4回 パーキンソン病事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第5回 多系統萎縮症・筋ジストロフィー・重症筋無力症などの事例による嚥下リハの進め方（田上）
- 第6回 ST 訪問訓練について、その実際と課題（田上）
- 第7回 成人・高齢者の正常嚥下の理解及び咀嚼の生理（糸田）
- 第8回 摂食・嚥下障害への具体的対応法（糸田）
- 第9回 全身管理（サルコペニア・オーラルフレイル等）（糸田）
- 第10回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の臨床の流れ（中村）
- 第11回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の症例検討 症例紹介（中村）
- 第12回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の症例検討 症例分析（中村）
- 第13回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の症例検討 グループディスカッション1（中村）
- 第14回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の症例検討 グループディスカッション2（中村）
- 第15回 脳血管疾患を中心に摂食嚥下障害の症例検討 発表とまとめ（中村）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

復習を行い、質問等で疑問点の解決に努めること

■ 教科書

書 名：ケーススタディ摂食嚥下リハビリテーション in DVD ～50症例から学ぶ実践的アプローチ～
 著者名：里宇明元，藤原俊之監修
 出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書 名：事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション 現場力を高めるヒント
 著者名：出江紳一，近藤健男，瀬田拓編集
 出版社：中央法規

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって